



ふきのとう

4
月号

2025
No.2



～ 上川医療センターより季節ごとの情報をお伝えします ～

平野院長からの新年度のご挨拶

だんだん春らしい暖かい日も増えてきて、例年と比べて少なかった雪も解けてきました。医師も3人の新任の先生方を迎えて、新年度のスタートを切りました。

今年度も1年間、宜しくお願いします。

今年度、特に取り組みたいことについてご紹介いたします。

【診療の質の向上】

昨年度、2年に1度の診療報酬改定があり、主に生活習慣病や認知症で通院されている方の医療費が増え、対象となる皆様のご負担が増え、ご迷惑をおかけしておりますが、ご協力有難うございます。皆様のご協力に感謝しております。今年度の医療費も同様ですが、今年度は、診療の質を見直す年にしたいと考えております。各疾患の診療ガイドライン等を見直し、皆様に提供している診療が適切に行われているかを確認したいと考えておりますので、引き続きご協力の程、宜しくお願いします。

【広報活動の強化継続】

昨年度、皆様に行ったアンケート調査の中で、当院の取り組みに関する広報活動が不足していることが分かり、院内で広報プロジェクトチームを立ち上げて対策を検討してきました。スタッフの皆様のご協力のおかげで、長年更新出来てなかったホームページを、昨年度、更新し、その後も適宜更新し続けております。また、本紙も再開することが出来ました。今年度も、新たな情報を適宜更新し続けていきたいと考えておりますので、楽しみにしていただけたらと思います。

【地域活動活性化】

昨年度、皆様に行ったアンケート調査の中で、地域活動が不足していることも分かりました。院外のお客さまの協力のもと、ケアコタンは継続しており、昨年度は、新たにふるさと祭りブースを出したり、中学校で講演会を行うなど新たな取り組みも行うことが出来ましたが、町内会での講演会活動などは行うことが出来ず、コロナ禍から町民の皆様との交流が不足している状況がまだ続いております。今年度も、少しずつでも地域に出ていき、地域の皆様との交流を増やすことが出来ればと思っております。町内会や各種団体など、地域で健康に関して話してほしいことがございましたら、ご相談頂けると幸いです。

私たち家庭医は、皆様の町のかかりつけ医です。

町民の皆様の健康のために少しでもお役に立てれば嬉しいと思っておりますので、何なりとご相談頂けると幸いです。今年度も1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

院長 平野 嘉信



～上川医療センター新年度のご挨拶～

今回は上川医療センターより皆様へ新年度のご挨拶として、
院長と新たに着任した3人の医師よりお送りいたします。

石塚 浩暉（いしづか こうき）

石塚浩暉（いしづかこうき）と申します。

生まれは釧路市、その後札幌市→栗沢町（現岩見沢市）→
岩見沢市、高校まで北海道内で生活し、愛知県長久手市にある
愛知医科大学で大学・研修医を送りました。



その後、高校同期の植村和平先生の勧めもあり北海道家庭医療学センターに入職することとなり帯広協
会病院、本輪西ファミリークリニックを経てこちらに赴任させていただきました。

精一杯がんばりますのでよろしくおねがいいたします。



石村 柚希奈（いしむら ゆきな）

はじめまして、石村柚希奈です。

東京で生まれ、大学は高知で6年間過ごし、その後、群馬にある
病院、栃木にある病院（獨協医科大学病院）と転々としています。

今回は獨協医科大学病院と北海道家庭医療学センターとの
連携で、1年間お世話になります。



雪国経験は、親戚に新潟の方が居まして、子供の頃は夏休みや冬休みの度に遊びに出かけていました。
なので雪は雪遊びの思い出としてありましたが、ちょうど上川町に来たタイミング（3月30日）で猛吹雪がき
ており、今までの雪のイメージとともに自分も吹き飛ばされました。その後は徐々に雪解けとなり、今は暖かさ
を感じています。

1年間という短い間ですが、何卒よろしくお願いいたします。



前田 祐希（まえだ ゆうき）

今年度から赴任しました前田祐希と申します。

多摩総合医療センターからの派遣で、1年ですがどうぞよろしく
お願いいたします。

元々救急の専門医を取得してプライマリケアの必要性を感じて
再度研修中の身になります。

この1年、平野先生の元で学ばせてもらおうと思う一方で、自身の持てるものは上川に還元していきたいと
思っております。



インドア傾向なのでできるだけ外に出るようにはしようと思っています。
雪国生活は初めてなので色々教えていただけると助かります。

